

---

# 猫電設定【解説書】

鈍行彗星

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

猫電設定【解説書】

### 【Nコード】

N7693L

### 【作者名】

鈍行彗星

### 【あらすじ】

猫電があるの解説書。わからないことがあつたらこれを見ましよう

・猫電（猫島電鉄）

昔から何故か、猫がたくさん住み着いている島、猫島。

その猫島と、両隣の都市『白野』と『黒井川』を結ぶ鉄道、猫島電鉄。

山あり海あり、路面電車ありの、全長わずか12キロの路線ながら、多彩な側面を見せることで人気のある鉄道。100年以上の歴史を持つ。本線と猫島支線から成り立つ。

1〜3両編成で運転し、支線は1〜2両で運転する。

主人公の二人は、この会社の所属。

・猫電本線（白野線＋黒川線）白野↷猫島駅↷黒井川

・猫島支線 猫島駅↷（猫の額通り）↷大棧橋（海急猫島前）↷猫島大鳥居（島内）

『白野線』と『黒川線』という名前は、従業員間での俗称であり、正式名称ではない。

白黒と言えば、猫島駅からスタートして、白野線から回って黒川線へ行って戻ってくる行路。

黒白、あるいは逆全線と言えば、黒川線から回って白野へ行って戻ってくる行路。

参拝、お参りに行くと言えば、猫島支線を担当することを指す。

なお、『猫島駅』とは猫島電鉄の開業当時の猫島最寄駅であり、

“猫島の島の中にある駅ではない”。

猫島の島の中にある駅は、後に開業した『猫島大鳥居駅』である。

車両

軌間は1372mmの広軌。東京都電、東急電鉄と深い関わりがあ

ったことが由来している

・本線用

特殊な軌間のため、オリジナルと、東急からの譲渡電車で運転している。

・80形間接非自動81、82

旧たまでん車両。旧103号と108号を譲り受け、81号、82号と改番。2両固定されている

・107形間接非自動107、108、109、110、111、112、113。

猫電オリジナルの101形、105形を連結運転可能に改造した車両。単行可能。

・300形間接自動301F、304F

107形を改造して2両固定化された車両。

連接車両にすることで、機器の搭載スペースを増やし、間接進段車両となった。

種車は、101形が101、104、105形が114、117。

・500形 501F、503F

新造車。片運転台2両固定編成の連接車。

猫島支線の200形を真似て作られたため、丸みを帯びた車体になっている。

107形との連結も可能。間接自動進段の吊り掛け駆動。

支線用車両

・平行カルダン・電磁直通車

200形 201F、202F。

元東急200形、猫島支線用。たまでん廃止に伴い、廃車されるところを軌間が奇跡的に一致したことから、支線用として譲渡された。連接2両車。

・猫電105形105、106  
間接非自動車。連結可能。

・東海急行電鉄

猫電の親会社であり、主人公二人の研修先である鉄道会社。歴史は猫電より浅いが、総延長100キロ以上と、規模は圧倒的に大きい。3つの路線から成り立つ。通称、海急線。

主人公

・飯島紗里奈 いいじまさりな

あだ名はサリー。

猫電初の女性運転士であり、少し調子に乗るところも。

胸の割にお尻が大きいので、いつもからかわれているが、逆にそれを利用して反撃することも。ただし、硬いらしい。

男だらけの職場ながらうまく打ち解けているが、打ち解けすぎて男扱いされることが小さな悩みのものである。

なんとなく、サリーちゃんという名前をつけてみたかった。

クサゴユウタイ  
・草悟雄大

あだ名はユウちゃん。

小さい頃から運転士になりたかった。鉄道マニア。

・尾根田小五郎 おねだごころう

紗里奈の猫電での運転士の先生、40歳。無事故20年を達成した超ベテラン指導運転士。

猫電のスペシャリストであり、最も猫電を知り尽くしている男と言える。

・中神  
一般の運転士。

・大田原  
猫島駅の駅務主任。元運転士

## 用語解説

1：「電磁SME」。電磁非常弁付き直通空気制動のこと。  
鉄道ブレーキの一種。最近では、連結運転をする路面電車などで使われている。

S M（直通空気ブレーキ）は圧縮した空気で車輪を押さえる、単純で応答性の良いブレーキだが、管に穴が開いたり、列車分離などの原因により空気が漏れてしてしまうと、ブレーキが利かなくなるという欠点があった。

そこで、『常に圧縮した空気で車輪からブレーキを遠ざけて』いて、『（EP、またはBP管の）空気を抜くことでブレーキの掛かる』、『自動空気ブレーキ』を併用することで、直通ブレーキが利かなくなっても非常ブレーキが動作する『SME』が開発された。

この『SME』に更に、電磁弁という、電気力で開閉を行う空気弁を搭載したのが、『電磁SME』である。

通常のSMEは、最前部の車両からしか空気の出し入れがされなかったため、編成が長ければ長いほど、一番後ろの車両までブレーキが伝わるのにかなりの時間が掛かるといふ欠点があった。

電磁SMEは、空気の出し入れの指示を、電線で後の車両の電磁弁に伝えることにより、後の車両からも空気のコントロールができるようになったため、ブレーキの応答性が格段に向上し、これにより、長編成でも使用可能になった。

猫島電鉄が一般的に使っているのが、この電磁SMEである。

2：「電気司令車」。電気司令式電磁直通空気ブレーキのこと。

『電気司令』『電気司令ブレーキ』と呼ばれることが多いが、あくまで空気のブレーキであり、電気ブレーキではないので注意。ブレーキの『司令』を『電気』で行っているから、『電気司令』である。

従来の（空気司令式）電磁直通ブレーキ（電直）は、各車両への中継電磁弁への司令こそ電気で行っていたが、あくまで列車に引きとおされたSAP管（Straight Air Pipe）の空気圧力によってブレーキ圧力を伝達していた。

それに対し、『電気司令ブレーキ』は、このSAP管を電線に置き換えることで、更なる伝達速度の向上が図られた。伝達圧力にもよるが、それまで『電直』で1〜3秒程度掛かっていたブレーキ伝達時間が、1秒未満程度にまで抑えることができるようになった。

更には、電直車は非常ブレーキ（電磁SMEなど自動ブレーキを非常ブレーキに使っている車両を含め）を使うと、BP管に圧力が溜まるまでブレーキを緩解できないのに対し、電気司令車はBP管も常励の電線（通常時は電気が流れていて、非常時は無電状態）に置き換えているので、非常ブレーキ使用後も、すぐにブレーキを緩解させることができる。

最近の新型電車では、この電気司令式が採用されることが多い。

3：「甲種と乙種の違い」甲種は鉄道、乙種は軌道である。

鉄道とは、専用の線路に敷かれたレールの上を走る物であり、軌道とは、道路に敷かれたレールの上を走る物である、と決められている。

また、鉄道と軌道はそれぞれ違う法律が定められており、基準や規制などが異なっている。

一般に軌道とは路面電車のことを指すが、路面蒸気車や路面ディ

ーゼル車も分類上軌道に含まれている。したがって、それぞれ違う免許が必要になってくる。

4：「空制と電制」空気制動と電気制動のこと。

鉄道ではブレーキのことを『制動』<sup>せいどう</sup>と言っ。

空制とは、その物ずばり空気のブレーキのことであり、自転車のブレーキのように直接車輪を圧縮空気で押さえつけて止めるブレーキである。鋳鉄やレジンなどのブレーキシューで直接押さえる踏面式と、車輪と連動して動く円盤を押さえつけるディスクブレーキ式の二種類がある。

また、ブレーキシューに圧縮空気を送るまでの機構の違いで、『直通ブレーキ』『自動ブレーキ』『SME』『電磁SME』『電磁直通ブレーキ』『電気司令式電磁直通ブレーキ』などの種類がある。一方電制とは、加速する時に使うモーターを発電機として使った負荷を与え、ブレーキにする物。車両に搭載された抵抗器で発電した電気を熱にして消費する『発電ブレーキ』、発電したブレーキを架線に戻し他の電車で消費させることでブレーキにする『回生ブレーキ』などがある。

鉄道車両は、電制を積んでいる車両でも必ず空制を積んでいる。それは、低速になればなるほどモーターの回転が少なくなるため、ブレーキ力が無くなる欠点があるためである。一部の車両では、完全に停車するまで電制が動作する物もあり、純電気（全電気）ブレーキと呼ばれているが、それでもバックアップとして空制を積んでいる。

5：「制動五条件」制動距離を求める際の五つの条件。

制動機構、制動初速、荷重、線路条件、天候のこと。荷重とは即ち乗客の総重量のことであり、線路条件は勾配（坂）や曲線のこと。これらの条件が変化すると、電車がブレーキを掛け始めてから停車

するまでの距離も変化する。

6：乗務区の呼び名について。

電車区、車掌区の他にも、蒸気鉄道やディーゼル鉄道の場合は『機関区』、大きな所だと『運輸区』、運営する場所も含まれると『営業所』などという呼び名が使われている。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7693/>

---

猫電設定【解説書】

2010年10月9日21時20分発行